

## 2015年9月期 決算説明資料

株式会社イグニス

2015年11月16日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- I. 2015年9月期の業績
- II. 2016年9月期の事業方針
- III. 2016年9月期の通期予想について

# I. 2015年9月期の業績

---

- ① ネイティブソーシャルゲーム「ぼくとドラゴン」が好調に推移し、売上・損益ともに通期予想（修正後）を上回る結果となりました。
- ② 2016年9月期は、2015年9月期に投入したサービスを中心に、運用体制を強化し、収益性の向上を目指します。

（単位：百万円、％）

	2015年9月期					通期予想	
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	累計実績	修正予想	対修正予想進捗率
連結売上高	243	263	613	1,299	2,419	2,400	100.8%
連結営業利益	△ 101	△ 140	△ 70	274	△ 38	△ 42	-
連結経常利益	△ 117	△ 155	△ 122	247	△ 148	△ 152	-
連結当期純利益	△ 89	△ 221	△ 132	136	△ 306	△ 340	-

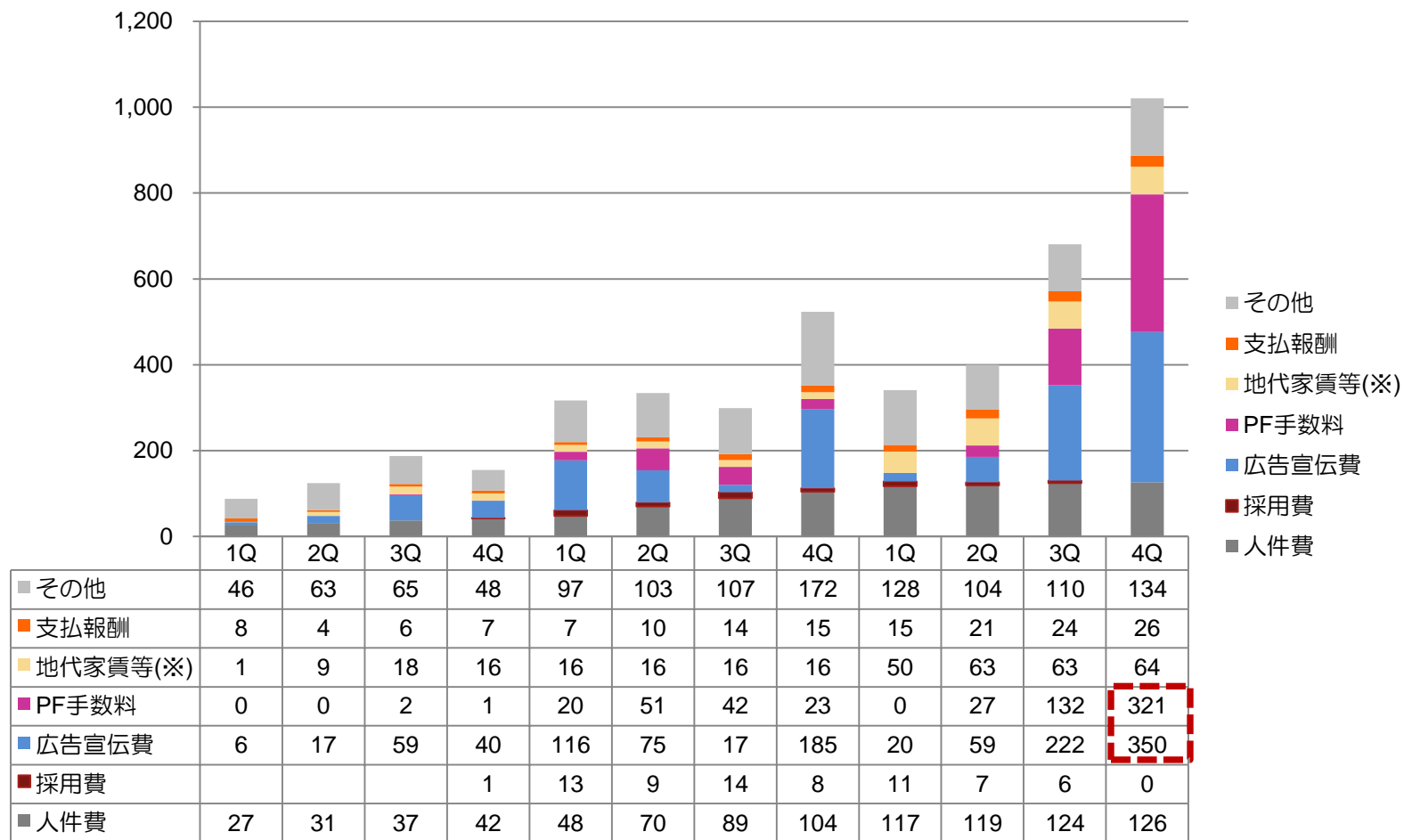
2015年9月期第4四半期（2015年7月-9月）では、主に、ネイティブソーシャルゲームの売上高が前年同期比10倍超と貢献し、四半期連結会計期間で黒字転換しました。

（単位：百万円、％）

	2015年9月期 4Q（四半期）	2014年9月期 4Q（四半期）	前年同期比	
			前年同期比	差額
売上高	1,299	737	+76.1%	561
無料ネイティブアプリ	183	615	△70.3%	△432
全巻無料型ハイブリッドアプリ	7	15	△54.2%	△8
ネイティブソーシャルゲーム	1,109	107	+936.0%	1,002
営業利益	274	211	+29.9%	63
営業利益率	21.1%	28.6%	-	-
経常利益	247	201	+23.0%	46
経常利益率	19.0%	27.3%	-	-
当期純利益	136	118	+15.1%	18
純利益率	10.5%	16.1%	-	-

経費の増加は、主に「ぼくとドラゴン」の広告宣伝費とプラットフォーム決済手数料の増加によるものであり、その他の経費は安定的に推移しております。

(単位：百万円)



2013年9月期

2014年9月期

2015年9月期

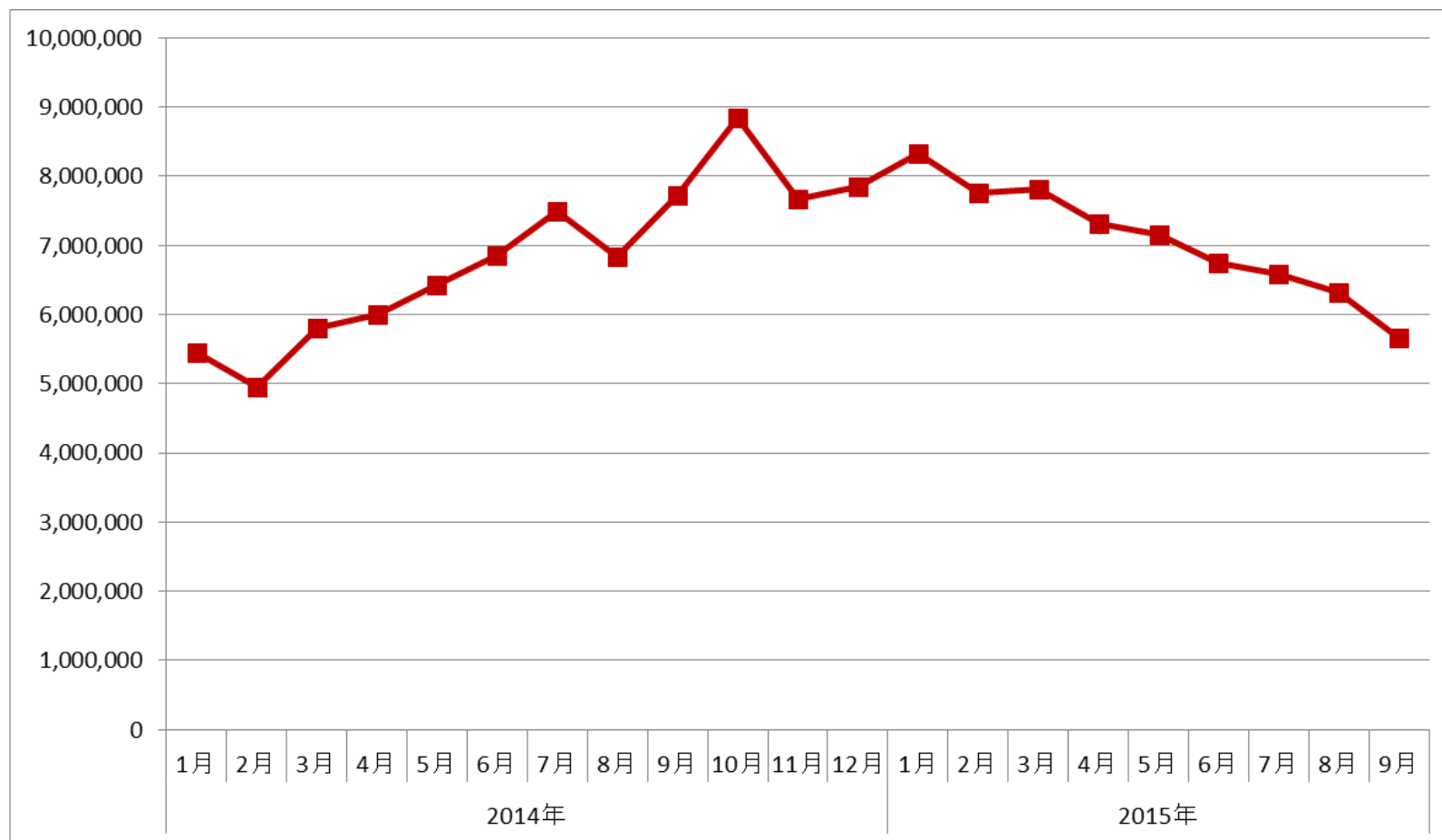
※本社設備に係る減価償却費を含む

## II. 2016年9月期の事業方針

---

運用型サービスへの開発リソースのシフトによりMAU（※1）は漸減傾向にあるものの、飛躍するために必要な成長痛であると捉えています。

無料ネイティブアプリ（海外含む）のMAU推移（単位：人）



※月間に一度でも当社無料ネイティブアプリを使用したユーザー数



前期は仕込み時期。本年度は運用型サービス収益化に注力します。

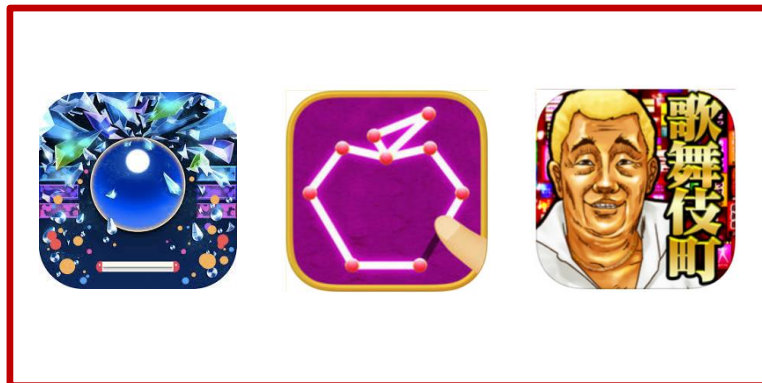
## コミュニケーション



## メディア



## カジュアルゲーム



## ツール



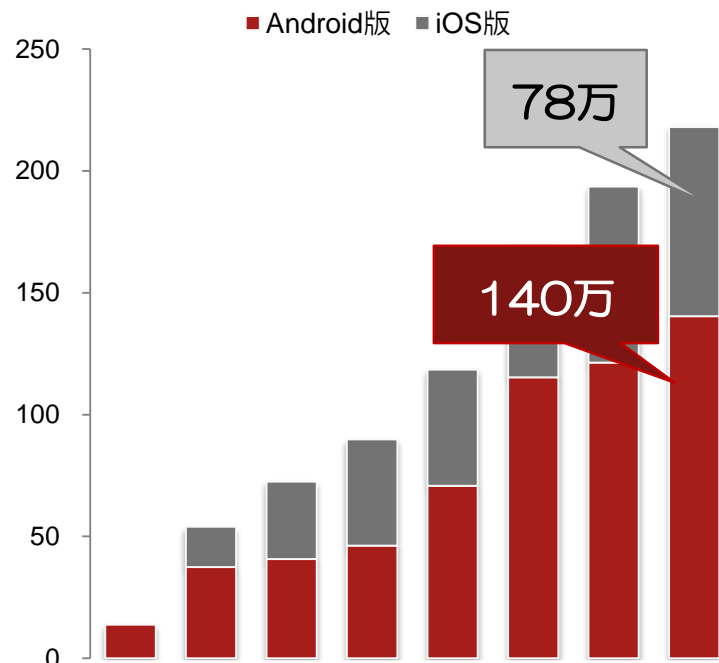
開発、運用体制の強化により、更なるサービスグロースを目指します！

200万ダウンロード達成！

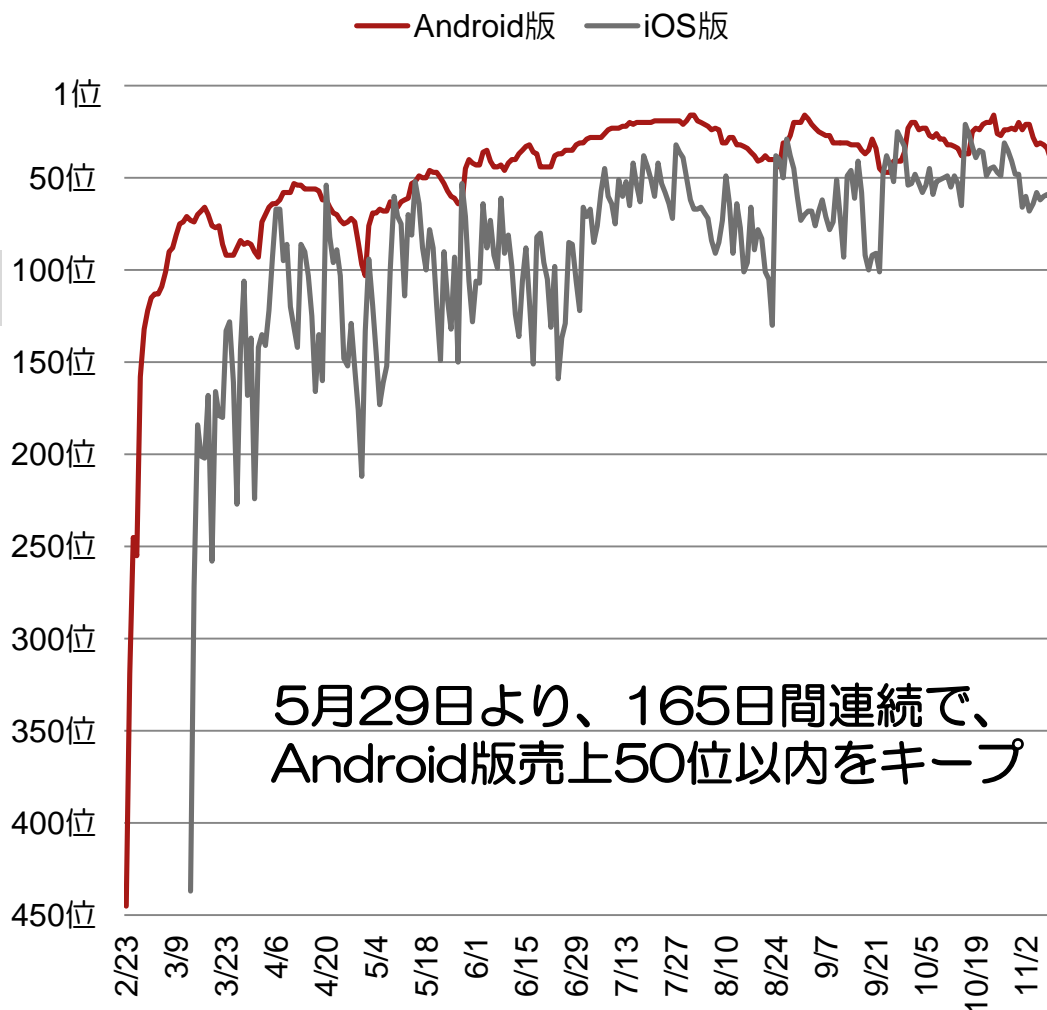
安定的な売上を確保！

イベントも好評！！

月間ダウンロード数の推移（累計）



国内アプリストア売上ランキング推移



※2015年11月9日時点

※ダウンロード数集計には、四捨五入による若干の計算上の差異があることをご了承ください

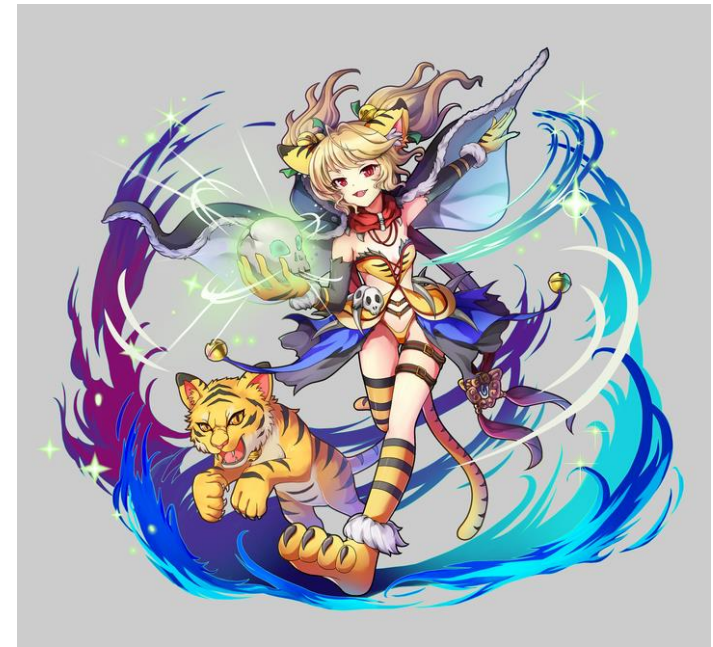
So-net Entertainment Taiwan Limited.の協力を得て、「ぼくとドラゴン」繁体字版を2015年11月10日リリースしました！

繁体字版オリジナルキャラクターも加え、台湾・香港・マカオのユーザー獲得を目指します！



記者発表会の模様

左から イグニス海外事業責任者 己越 千清、So-net台湾CEO 永田 博丈氏



繁体字版オリジナルキャラクター

2016年9月期は、「ぼくとドラゴン」の継続運用に注力し、サービスグロースに尽力する一方で、安易なライン増はしないという方針を貫き、新規タイトル・海外配信においても一つ一つ大切に開発してまいります。

「ぼくとドラゴン」のリリース

2015年2月20日 Android版

2015年3月12日 iOS版



200万ダウンロード達成！  
イベントも好調！



繁体字版が配信スタート  
海外配信ノウハウを蓄積

【新規タイトル】  
蓄積した運用ノウハウを  
ベースにさらなるステップ  
アップを実現

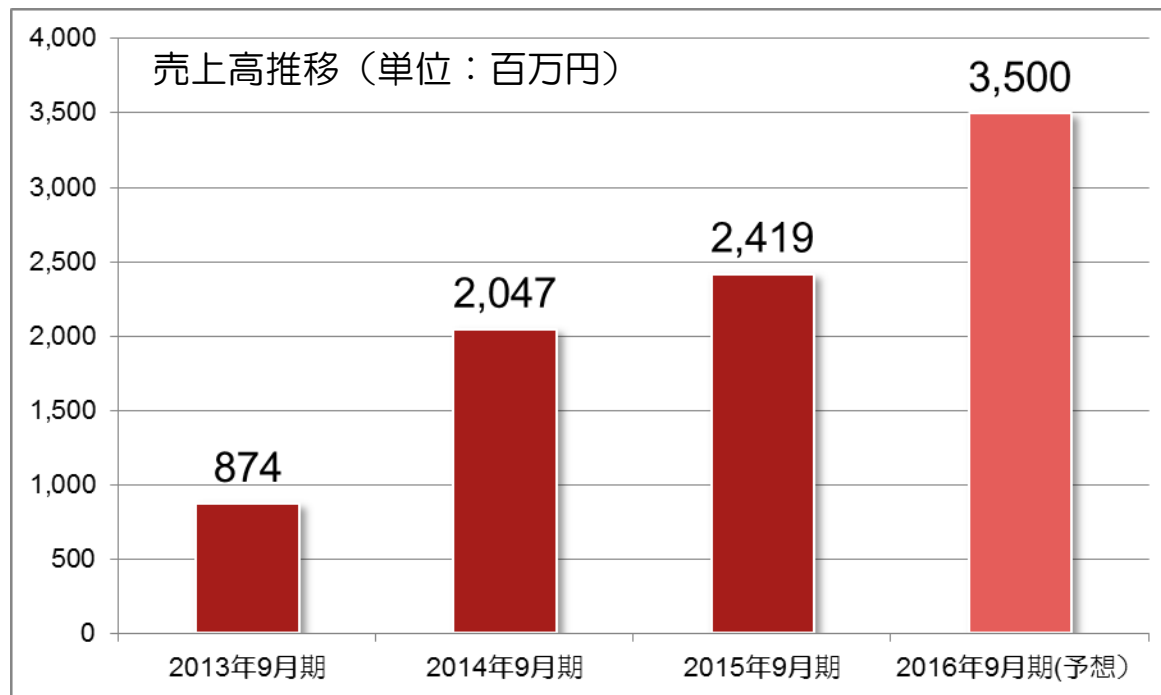
### Ⅲ. 2016年9月期の通期予想について

## 2016年9月期の注力ポイント

- ① ぼくとドラゴンの継続運営による収益力強化
- ② 運用型サービスの収益化加速
- ③ 中規模以上のサービス開発

これらにより、通期連結売上高を以下のように予想をしております。

2016年9月期 売上高予想 35億円

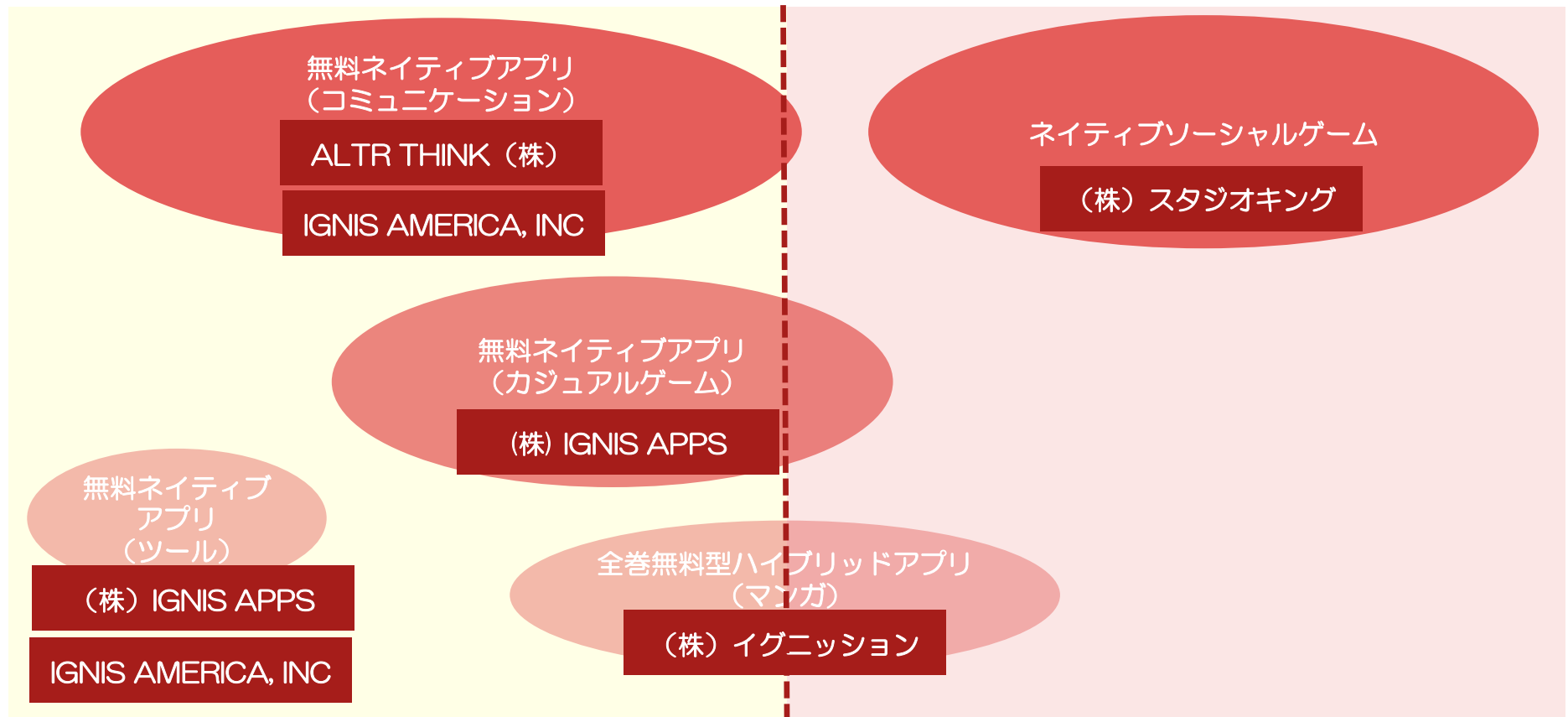


(利益等の業績予想につきましては、当社にて精査の上、適切と判断された段階で開示させていただきます。)

当社は今後ともユーザーの皆様の満足度の高いアプリを提供すべく、利用率の高いジャンルを中心に、良質なアプリを提供してまいります。

## 広告収入

## 課金収入



特に注力する分野

【補足資料】

---



## 【会社概要】

当社は、主にスマートフォンを対象に、ユーザーニーズが高く、かつ高品質なアプリケーションを提供している企業です。

社名	株式会社イグニス（英字表記名：IGNIS LTD.）
資本金	562,641,000円
設立	2010年5月31日
本社所在地	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー12F
従業員数	114名（2015年9月末、正社員のみ）
主な事業	スマートフォンアプリ事業 無料ネイティブアプリの企画・制作・運営・販売 ネイティブソーシャルゲームの企画・制作・運営・販売
主要グループ会社	株式会社アイビー IGNIS AMERICA, INC. 株式会社イグニッション 株式会社IGNIS APPS 株式会社スタジオキング ALTR THINK株式会社

何度でも“次のあたりまえ”を創ることで、世界にインパクトを与える。

そんな思いで、我々は2010年5月に株式会社イグニスを創業しました。

「イグニス」はラテン語で「火」を意味する言葉です。

「火」は古代より生きる上でなくてはならない四大元素のひとつとされていました。

火を囲うように人が集まり、コミュニケーションが生まれ、人類は進化を遂げました。

そして現代、火は人々の生活に溶け込み、「あたりまえ」の存在になりました。

我々は、次のあたりまえを創り続けることで世界を進化させたい。

高い志を持ち、仕事に燃える集合体でありたい。

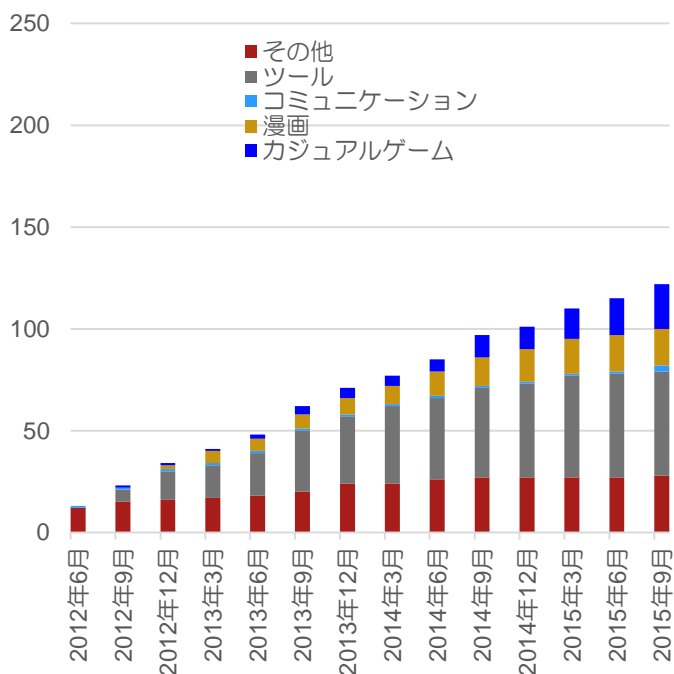
そんな思いを社名にこめています。

当社は、広告収入をメインとし、ユーザーにとって価値のある無料ネイティブアプリを提供する一方で、課金型のネイティブソーシャルゲームも提供しています。

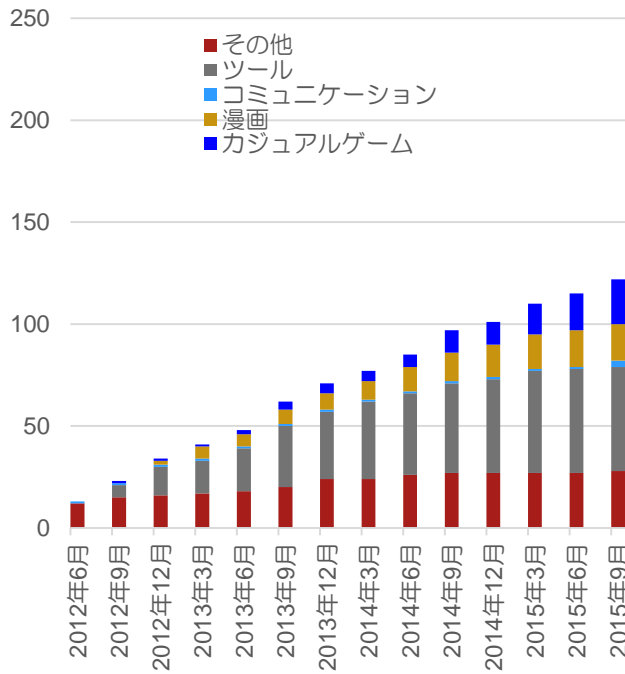
## 無料ネイティブアプリ -広告収入（一部課金）-

## ネイティブソーシャルゲーム -課金収入-

Android版アプリ数推移



iOS版アプリ数推移

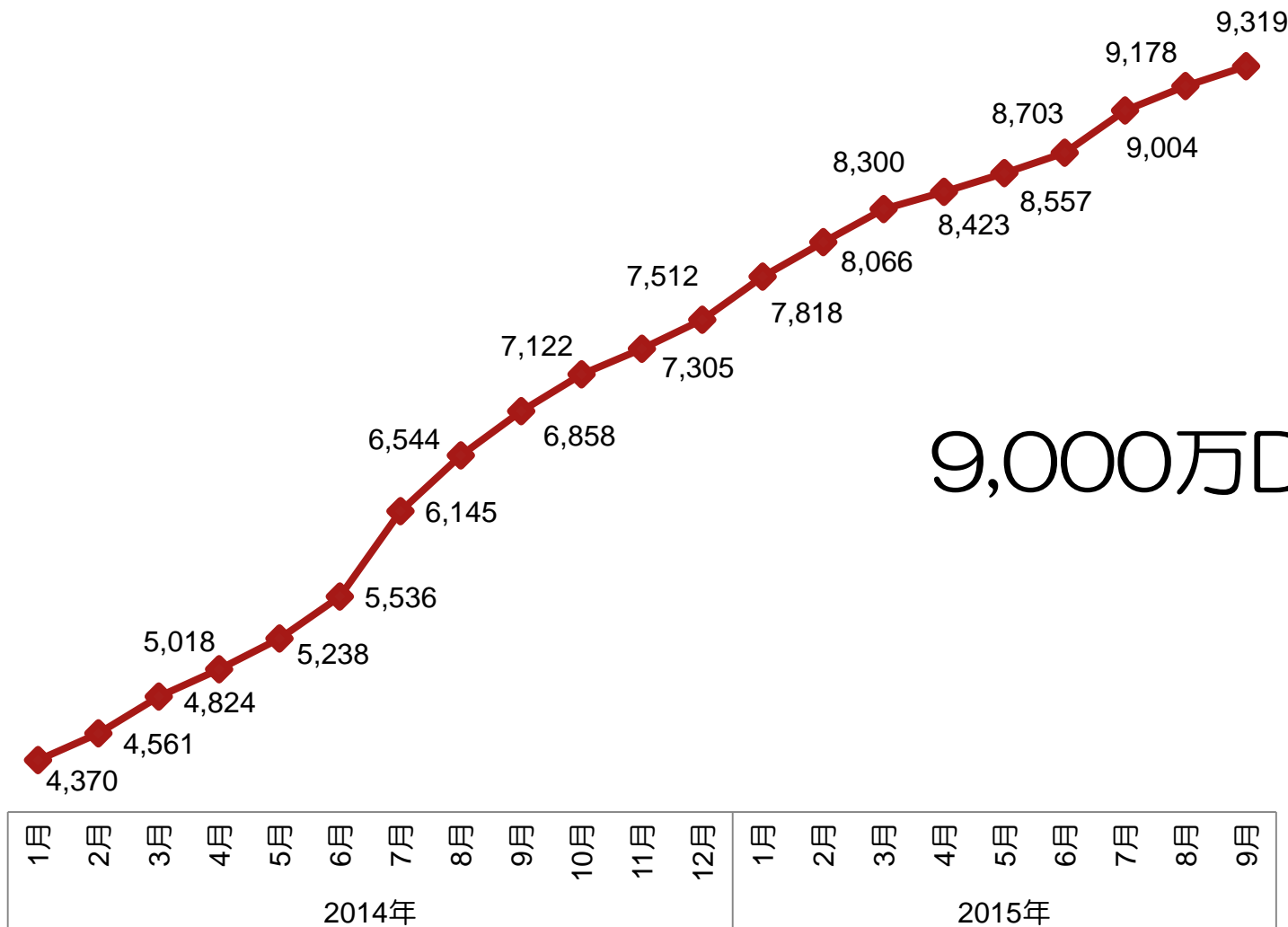


「ぼくとドラゴン」

2015年2月20日 Android版リリース  
 2015年3月12日 iOS版リリース  
 2015年6月26日 100万DL達成  
 2015年9月20日 200万DL達成

# 無料ネイティブアプリのダウンロード数の推移 IGNIS

ユーザーの皆様からの支持のもと、ダウンロード数は順調に推移しています。  
(単位：万ダウンロード)



9,000万DLに到達！

## プロデューサー・エンジニアとして最前線の現場力を有する経営陣

- 素早く的確な経営判断が可能
- 社員の**最大パフォーマンス**を引き出す**評価の納得感**を実現

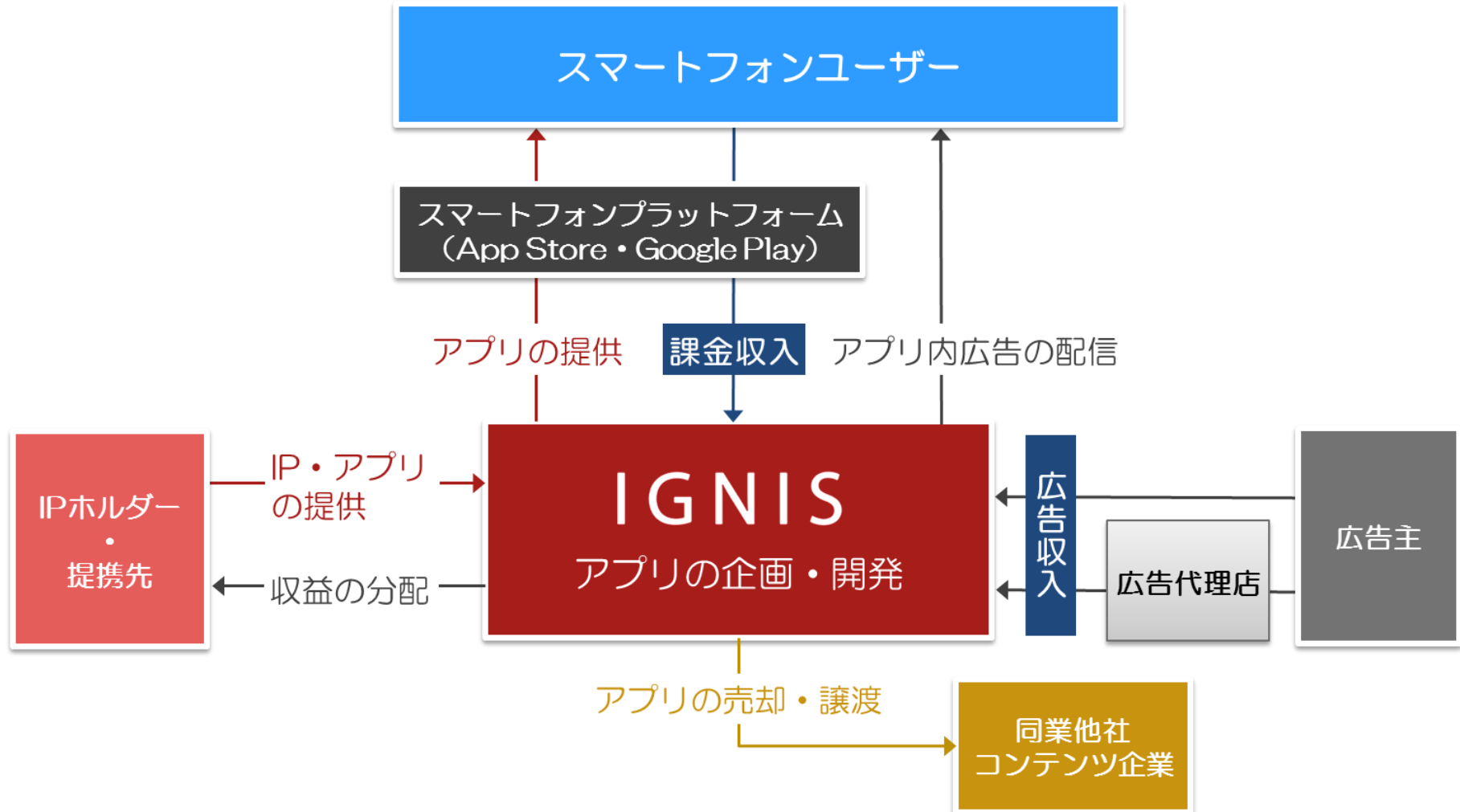


代表取締役社長 銭 鋳  
トッププロデューサー  
プロデューサーとしてヒットアプリを量産。  
ツール系アプリの事業化、全巻無料型ハイブリッドアプリのビジネスモデル構築など、最前線で事業を牽引



代表取締役CTO 鈴木 貴明  
トップエンジニア  
フルネイティブアプリの多種多様な開発言語に精通。ネイティブソーシャルゲーム事業を管掌。トップエンジニアの視点で経営判断、マネジメントを担う

アプリはApp Store、Google Playを通じてユーザーの皆様に供給。  
アプリへの広告掲載収入と、課金収入が主な収益源です。



「次のあたりまえ」となるような億単位のユーザーが使うプロダクトの開発を目指し、新たな挑戦のステージへ。



100万ダウンロード級  
プロダクトの開発

2012~2014年

1,000万ダウンロード級  
プロダクトの開発

1億ダウンロード級  
プロダクトの開発

次のあたりまえを創る。何度でも

▲ 現地点

↑ 収益の拡大

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは現在における見込、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。